

取手聖徳女子は2020年も継続した取り組みを推進します！

◎高等学校は2023年度入試まで生徒募集を継続します。最後の一人が卒業するまでしっかりと面倒を見ていきます。

◎これからも教育内容の充実のための努力を続け、生徒主体の学校行事も教職員一同全力でサポートしていきます。

◎生徒と教職員が共に学ぶ、アットホームな学校です。誰にでも優しく親身にサポートできる教員が自慢です。



授業における生徒のプレゼンの様子



アクティブラーニングは「塾の先生が選ぶ学校Top20」にランクイン！

「探究」の心を育むため、授業や学校行事・委員会活動や部活動などすべての分野で教育改革を進めています。取手聖徳女子高には生徒一人一人が主体となり、協働し活躍できる環境が用意されています。

ICT・Wi-Fi環境も整備

ICT環境が整い、すべての教室にWi-Fiが設置されています。授業中も簡単に検索でき、学習環境は一層良くなりました。

文武両道！運動部も文化部も自分の意欲・関心が広がる！

運動系では全国大会出場のテニス部や関東大会出場の陸上駅伝部のほか、ダンス部・バレー部など頑張っています。文化系では東関東大会4年連続出場の吹奏楽部、全国総合文化祭出場の箏曲部・書道部・かるた部をはじめ、ESS部や演劇研究部が活躍しています。



陸上駅伝部



硬式テニス部

2020年より普通科に吹奏楽コースがスタート！

<吹奏楽コースの特徴>

大好きな音楽を通して、仲間との一体感や感動を味わうことにより、感性豊かな人格の形成を目標としています。

◎吹奏楽コンクール、アンサンブルコンテストなどに積極的に挑戦し、計画的かつ実践的なレッスンプログラムを取り入れ、上位進出を目指します。

◎入学試験において、「吹奏楽入試」での受験ができます。



茨城県吹奏楽コンクール

取手聖徳女子 高等学校



—— 取手聖徳女子は2020年も継続した取り組みを推進します！ ——



体育祭応援合戦の様子

多彩な行事で一人ひとりの個性が活きる。責任感・行動力のあふれる生徒たち。

毎年、初夏には全校生徒が熱く盛り上がる「体育祭」。先輩も後輩も学年を越えて協力し競い合います。また秋には1年に1度のお祭り「聖徳祭」。クラス発表や模擬店、部活動ごとに日頃の成果を発表する機会があります。女子だけだからこそすべて「本気」で取り組み、学年を問わず生徒同士のキズナが深まるのが取手聖徳女子高の伝統です。

毎年3泊4日の北蓼科高原体験学習では、田植えや作物の収穫、登山や美術館見学など四季の体験が盛りだくさん。修学旅行は5泊6日で秋の九州を訪れます。長崎での原爆資料館など平和学習はもとより、日本の歴史・文化をより深く理解することができます。友だちとのかけがえのない時間を共有し、一生忘れることのない素敵な旅行になること間違いなしです。



修学旅行



北蓼科高原体験学習

教育過程特例校

「女性キャリア」の取り組み

ますますグローバル化が進み、様々な情報が飛び交い、価値観が揺らぐこれからの時代を生きる人間に最も必要とされる力は何でしょうか。それは、周囲の人々と手を携えて、自分の強みと他者の強みを足し算しながら、自分自身やこの社会のより良い在り方を求めて試行錯誤する力です。本校の「女性キャリア」は、こういった力を養うプログラムを10年前から実施してきました。人間関係作りの力、コミュニケーションスキル、情報発信のリテラシー、そして自ら課題を見つけ主体的に判断し問題解決につなげる力を育む教育、幅広い学びを、これからも誇りを持って実践して参ります。



構成的グループエンカウンター



「女性キャリア」の総仕上げは、自分の周りに課題を発見し、その解決に向けて様々な方法を試したり、情報を集めたりしながら、自分なりの解決策や発見を卒業論文という形で発表します。このゴールに向けて、4年次より構成的グループエンカウンターやアサーティブコミュニケーショントレーニングをはじめとする多様なプログラムを通して、自分の意見が他者の意見と異なることは尊いことであること、人から自分とは異なる意見をもらうことで自分の意見を見直すことができ、よりより解決策が見つかるのだということを身を持って体験します。



文化祭での論文発表



取手聖徳では女子校の伝統を守り、探究と協働活動を継続します。

小笠原流礼法の継承

開校当初より小笠原流礼法を正課の授業として取り入れ、基本となる和の心を学びます。礼法は形ではなく、相手を思いやる姿勢を学びます。



贈答の作法

音楽科

一人ひとりを大切にする指導で、技術と表現力を磨きます。音楽に囲まれた環境を活かして、才能を大きく開花させます。



定期演奏会